

2次元ランダム・ウォーク

2次元ランダム・ウォーク（具体的な確率モデルは、拙著本文参照）のシミュレーションプログラム RandomWalk を起動すると図1のフォームが現れる。



図1 起動時のフォーム。

「Start」ボタンのクリックで、図2の画面になり、シミュレーションが始まる（図2）。

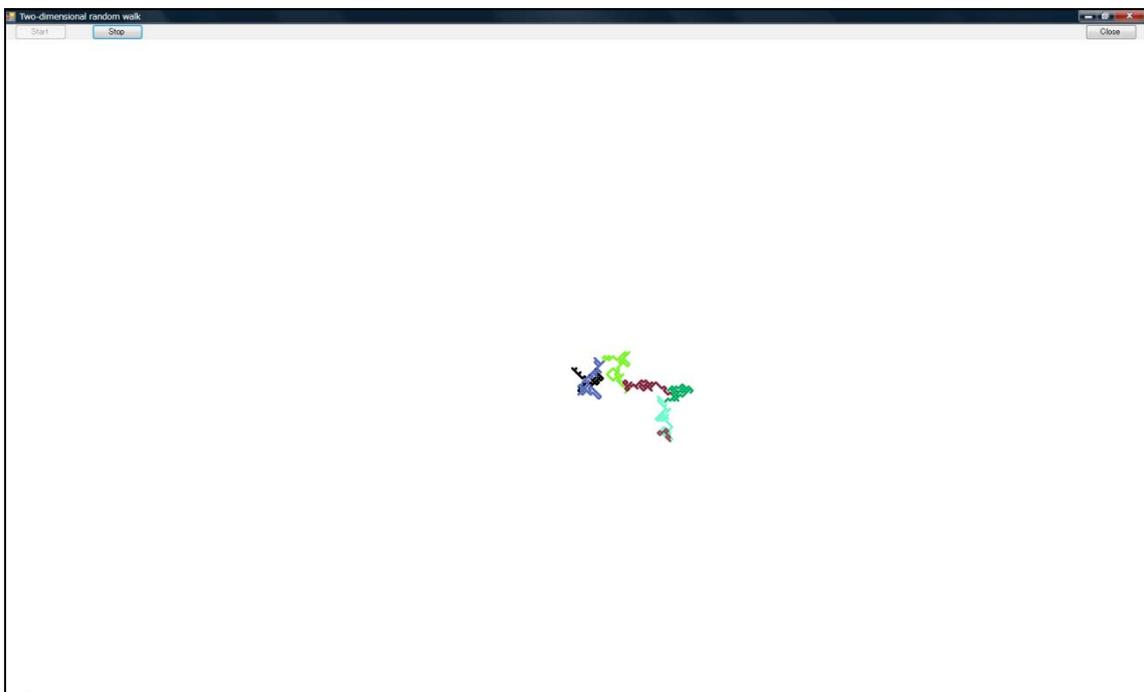


図2 「Start」ボタンのクリックで表示されるフォーム。

左上の「Stop」ボタンをクリックするとシミュレーションは停止する（図3）。

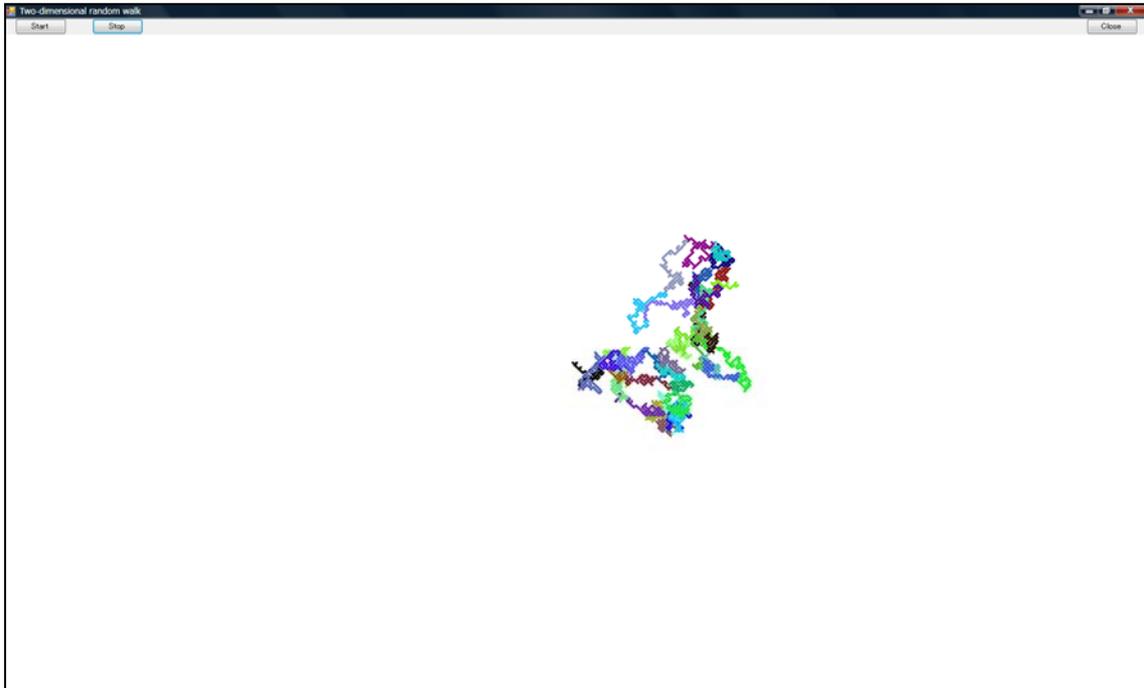


図3 「Stop」 ボタンのクリックで停止。

停止したシミュレーション (図3) は、「Start」 ボタンのクリックで画面がクリアされてからシミュレーションが始まる。「Close」 ボタンのクリックでプログラムは終了する。

シミュレーションは `timer` コントロールによって速さを調整している。`Timer.Tick` イベントで起動されるメソッド内での描画を継続するため、次の文

```
pictureBox1->Image = pictureBox1->Image;
```

を実行している。詳しくは、ダウンロードしたソースファイルを参照のこと。